

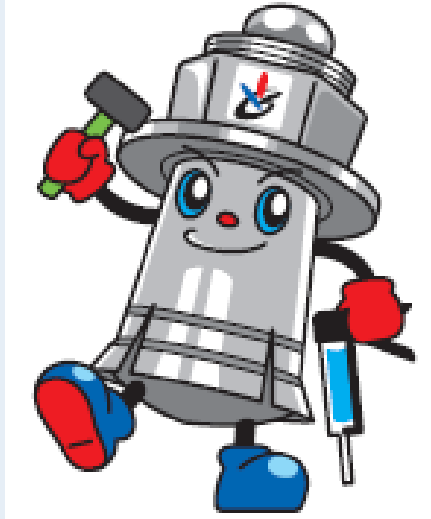
証券コード：3435



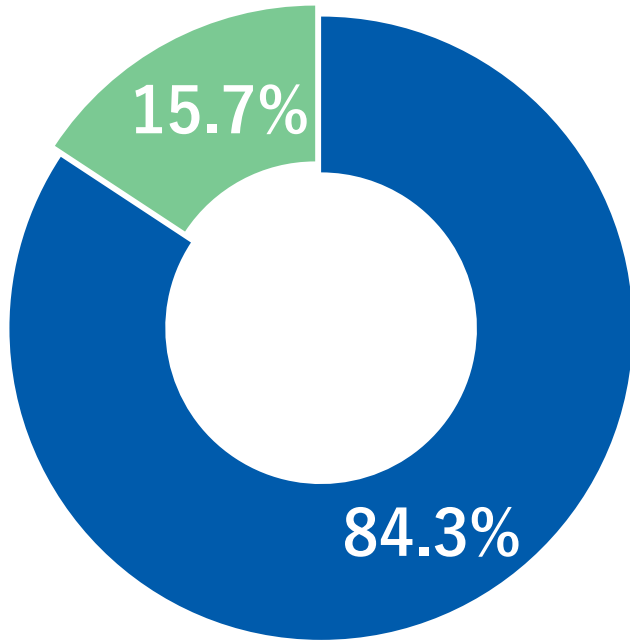
# 2025年3月期 第2四半期 決算説明会



社名	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
代表者	洞下 英人 (ほらげ ひでと)
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16
従業員数	連結：685名 (188名) 単体：359名 (72名) 括弧は、平均臨時雇用者数 (外数)
資本金	768百万円
国内拠点	19拠点
連結子会社	12社 (海外3社含む)
市場	東証スタンダード市場
事業内容	建設資材 (あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等)、 複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工および輸出入



創業60周年で誕生  
当社オリジナルキャラクター  
**テクのん**



2024年3月期売上高  
**21,142百万円**

👉 機能材事業に含めていた電動油圧工具は、セグメントを変更し、ファスニング事業に含めて記載しております

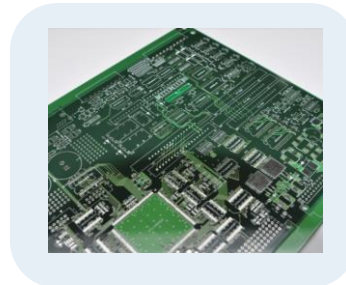
## ファスニング事業（売上高：17,816百万円）

あと施工アンカー・ドリルビット・電動油圧工具の  
開発・製造・販売  
土木建築関連（耐震工事）・太陽光関連の工事管理 等



## 機能材事業（売上高：3,326百万円）

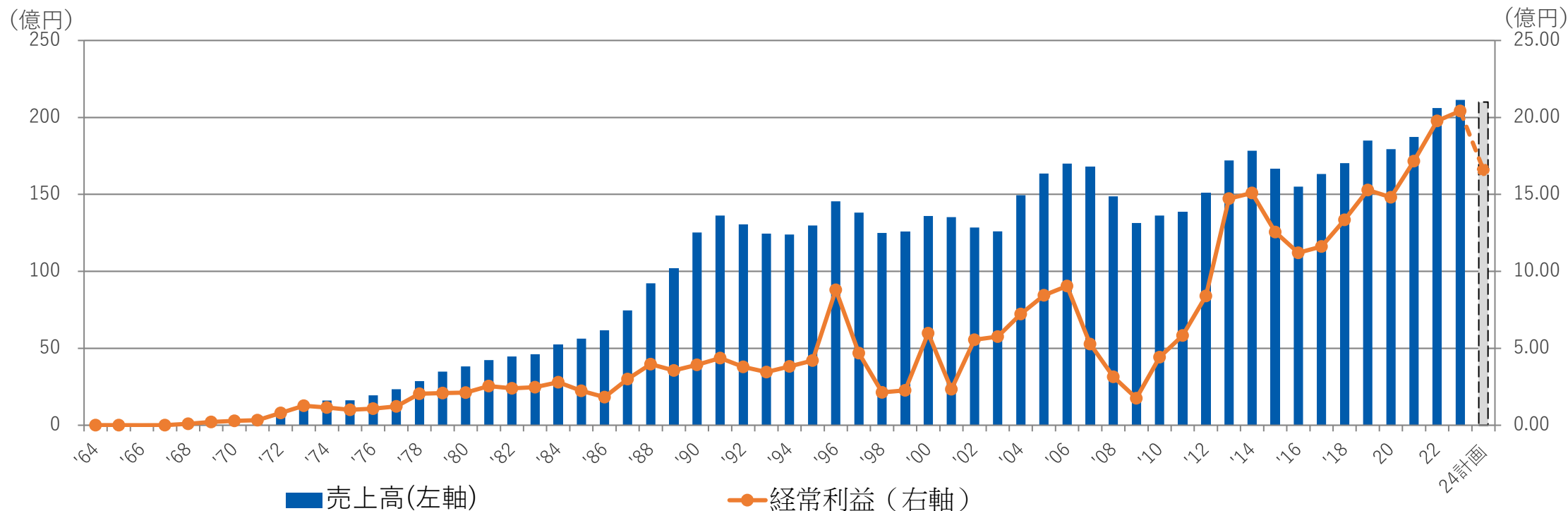
FRPシート関連、電子プリント基板や各種測定器および  
包装・物流機器の製造・販売 等



1964年 三幸商事株式会社を設立  
 1965年 オールアンカー開発・実用新案登録  
 1966年 三幸工業株式会社を設立  
 1988年 SANKO FASTEM(THAILAND) LTD. を設立  
 1991年 三幸商事顧問股份有限公司（台湾）を設立  
 1993年 西部物流センターを開設  
 1996年 三幸商事・三幸工業の合併でサンコーテクノ誕生

1998年 中央物流センターを開設  
 2002年 ものづくりテクニカルセンターを開設  
 2003年 (株)スイコーを子会社化  
 2004年 (株)IKKを子会社化  
 2005年 ジャスダック証券取引所に株式上場  
 2006年 アイエスエム・インタナショナル(株)を子会社化  
 2011年 SANKO FASTEM(VIETNAM) LTD. を設立

2015年 東証第二部へ市場変更  
 2018年 技術研究所を創設  
 2019年 浦和電研(株)を子会社化  
 成光産業(株)・成光パック(株)を子会社化  
 2021年 日本メカニック(株)を子会社化  
 2023年 (株)WDS・新光ナイロン(株)・(株)光洋を子会社化



**フェーズ1 成長への始動**  
国内拠点の拡充（全国販売網の確立）

**フェーズ2 転換期**  
製造と物流拠点の再構築・工事部門の設立

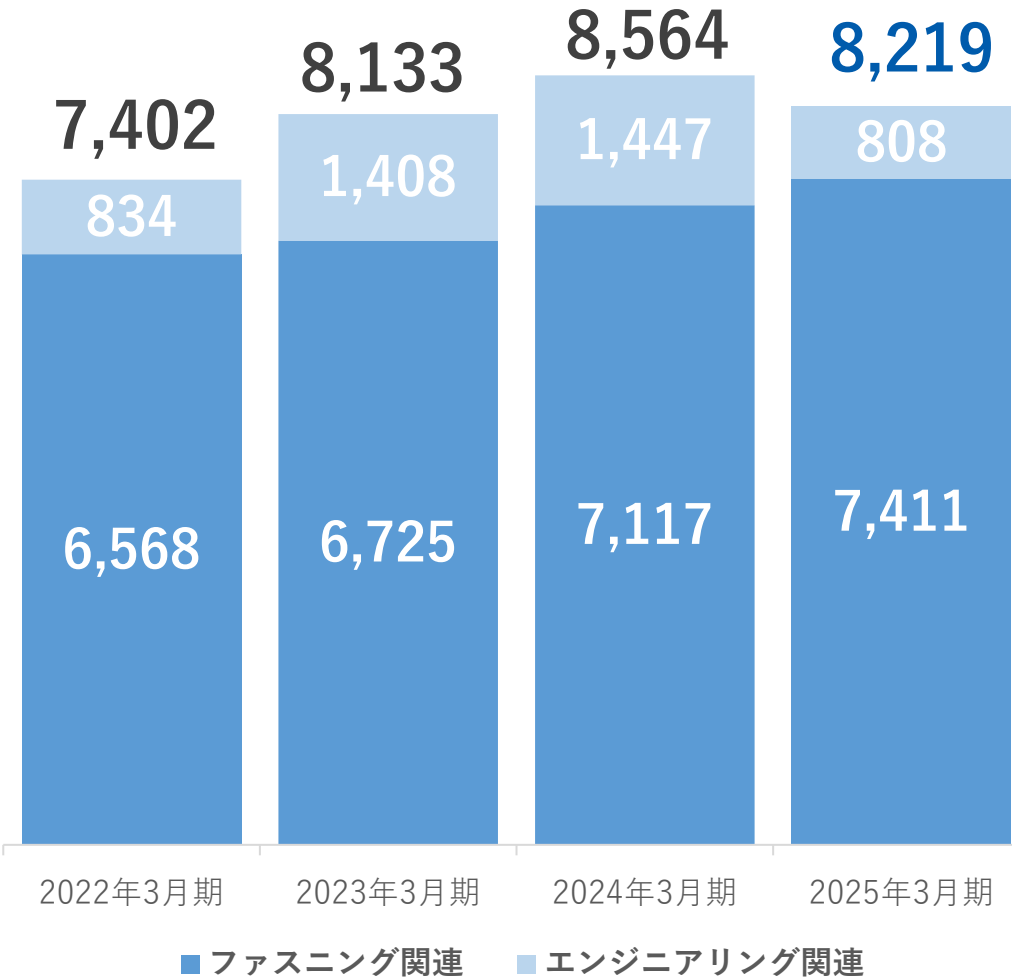
**フェーズ3 持続的成長へ**  
産学連携の開発体制構築・事業の多角化推進

# 2025年3月期 第2四半期 実績

- 主力製品の販売は安定しているが工期遅延や失注の影響で、前年比・計画比ともに減収
- 原燃料・資材価格の高騰（円安基調）や人件費の上昇により減益

(百万円)	2024年3月期 第2Q累計実績	2025年3月期 第2Q累計予想	2025年3月期 第2Q累計実績	前年同期比	対予想比
売上高	10,157	10,500	10,078	△ 0.8%	△ 4.0%
営業利益	962	850	742	△ 22.8%	△ 12.6%
営業利益率 (%)	9.5%	8.1%	7.4%	△ 2.1pt	△ 0.7pt
経常利益	935	830	750	△ 19.9%	△ 9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	929	580	608	△ 34.6%	+ 4.9%

## 売上高推移（第2Q累計）



	実績（百万円）	前年同期比
売上高	8,219	△ 4.0%
セグメント利益	1,150	△ 11.3%

### ■ ファスニング関連

- ・主力のあと施工アンカーはじめ、ドリル・ファスナーの販売が好調に推移
- ・電動油圧工具の販売は、国内は堅調に推移したが、海外は低調に推移

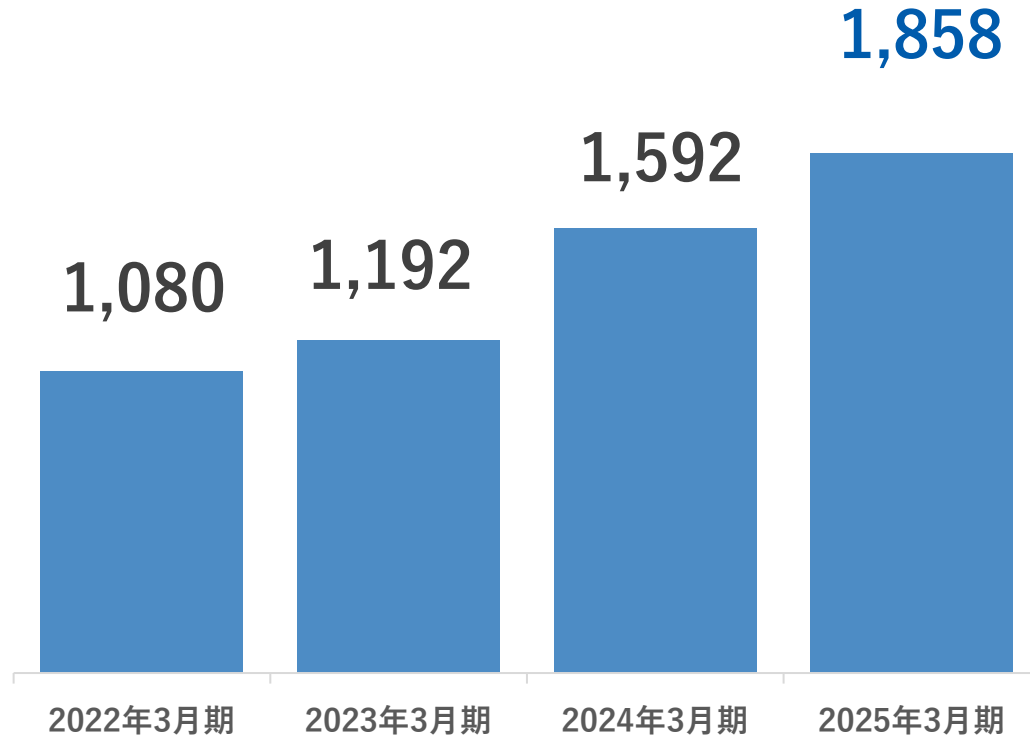
### ■ エンジニアリング関連

- ・今期見込んでいた主要な案件が失注となったほか、「2024年問題」の本格化による労働力不足や建材の高騰による工期遅延などで大幅な減収減益

👉 機能材事業に含めていた電動油圧工具は、セグメントを変更し、ファスニング事業に含めて記載しております

## 売上高推移（第2Q累計）

（百万円）



	実績（百万円）	前年同期比
売上高	1,858	+ 16.7%
セグメント利益	58	△ 61.6%

■FRPシート、アルコール検知器、包装・物流機器関連  
販売が概ね堅調に推移し、前年を上回った  
とくに、FRPシートの用途拡大や、物流梱包用の機器が  
順調に推移した

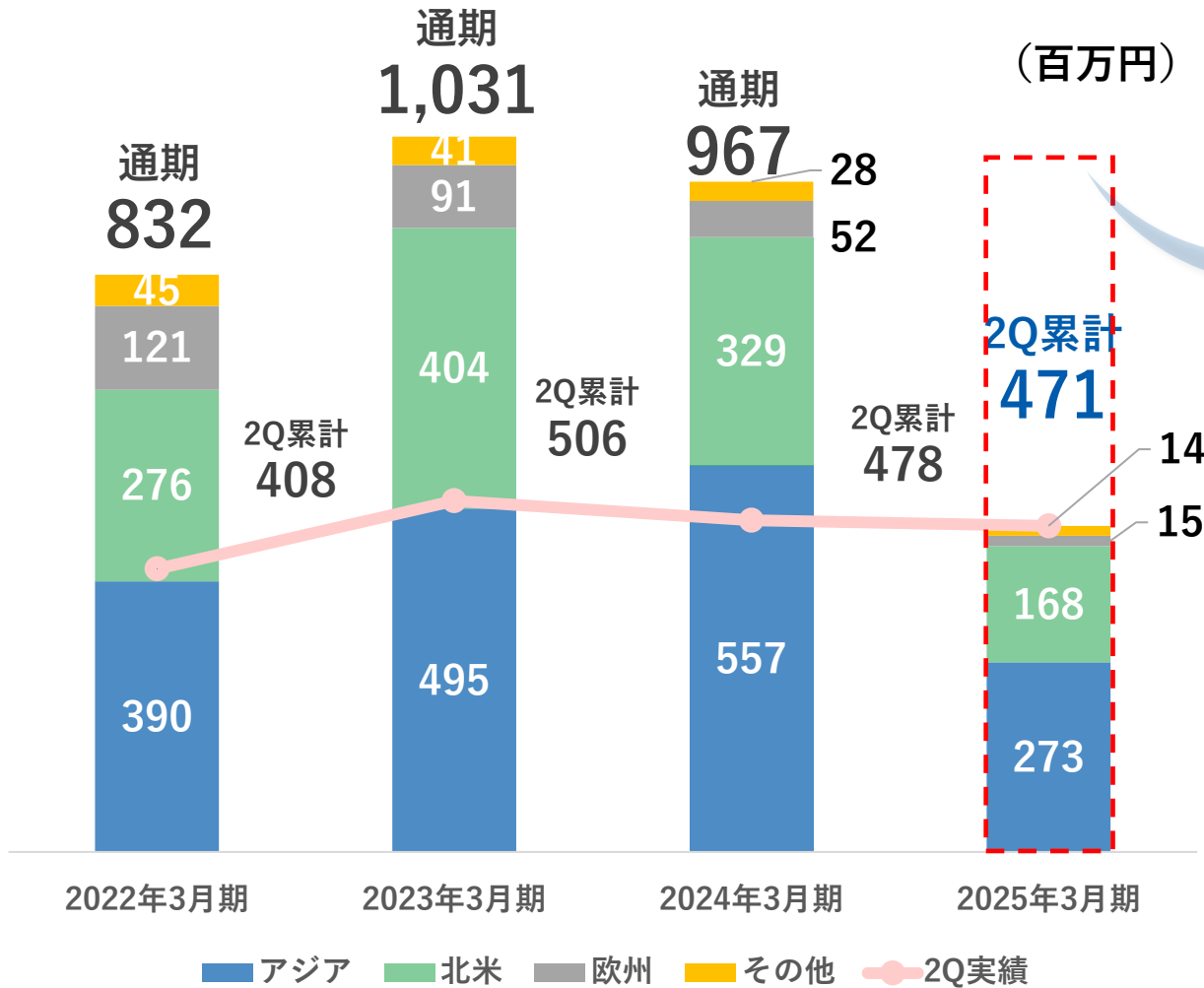
■電子基板関連  
新規連結子会社の売上が寄与したが、基板に実装する  
各種部品のコスト増が、セグメント利益に影響した

その他、開発投資増による影響が利益を押し下げた

👉 機能材事業に含めていた電動油圧工具は、セグメントを変更し、ファスニング事業に含めて記載しております



## 地域別海外売上高推移



アジア圏で伸長したが、  
北米・欧州圏で低迷が続く

通期10億円をベースとした  
売上拡大を目指す

【地域別 カッコ内：前年同期比増減】

- アジア：273百万円（+ 37百万円）
- 北米：168百万円（△ 19百万円）
- 欧州：15百万円（△ 19百万円）
- その他：14百万円（△ 4百万円）

単位：百万円

連結貸借対照表	2024年3月期	2025年3月期 第2四半期	増減額
現金及び預金	3,276	3,208	△68
棚卸資産	6,555	6,491	△63
その他の流動資産	5,301	4,891	△410
有形固定資産	7,008	7,445	+437
その他の固定資産	2,487	2,504	+17
総資産	24,629	24,541	△87
負債	7,064	6,263	△801
純資産	17,564	18,278	+714

単位：百万円

連結キャッシュ・フロー	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	561	820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,550	△327
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,265	△594
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	20
現金及び現金同等物の期末残高	2,603	3,136
フリーキャッシュ・フロー	△989	492

## ■ 主な増減理由

- ・ **その他流動資産**  
受取手形、売掛金及び契約資産の減少
- ・ **有形固定資産**  
(M&Aに伴う) 建物、土地の増加
- ・ **負債**  
短期借入金、未払法人税、長期借入金が減少
- ・ **純資産**  
利益剰余金の増加
- ・ **財務活動によるキャッシュ・フロー**  
短期借入金の減少、長期借入金の返済による支出、配当金の支払いによる減少

## ■ 各種展示会に出展しました



2024年6月  
FOOMA展示会/成光産業  
包装・物流機器を出展



2024年6月  
リフォーム&リニューアル展  
グループ各社商品を一堂に出展

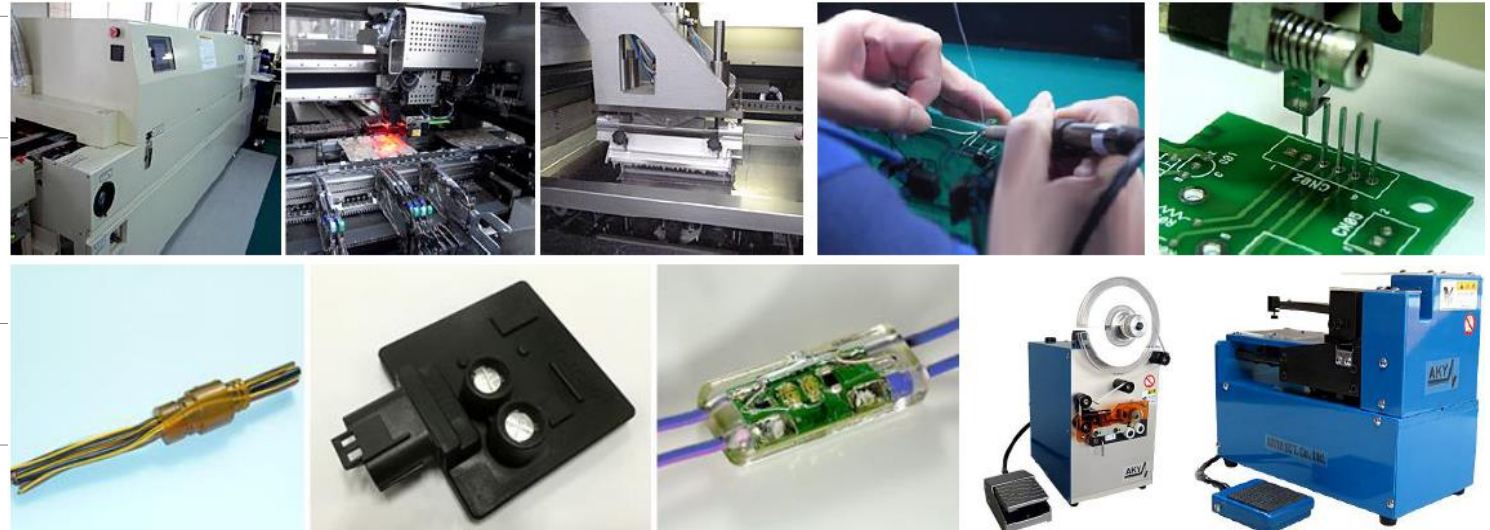


2024年9月  
国際物流展  
アルコール検知器の新商品を出展

## ■機能材事業：アキヤ電気株式会社が グループの一員になりました（2024年10月2日）

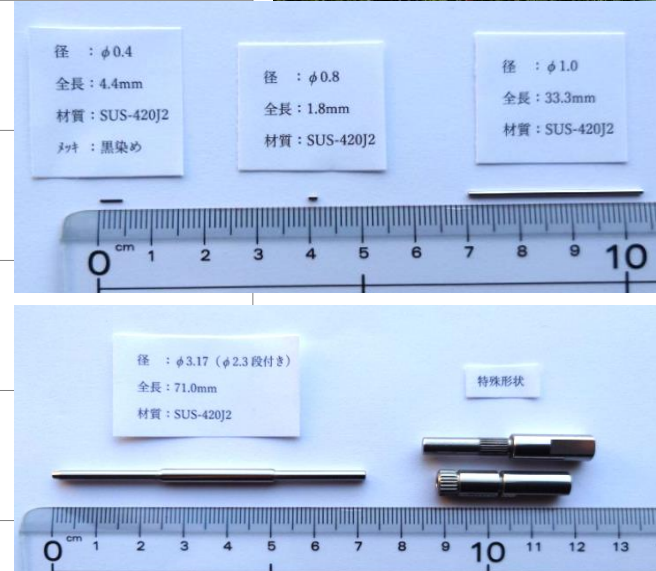


企業名	アキヤ電気株式会社
URL	<a href="http://www.aky.co.jp/index.html">http://www.aky.co.jp/index.html</a>
所在地	本社：埼玉県鴻巣市宮前489
創立	1972年11月13日
事業内容	プリント基板実装 制御装置設計製造
従業員数	68名
資本金	10百万円



## ■非連結子会社：日光精機株式会社が グループの一員になりました（2024年10月8日）

企業名	日光精機株式会社
所在地	本社：埼玉県八潮市木曾根514番地 2
創立	1956年12月28日
事業内容	精密シャフト・ピン製造業
従業員数	11名
資本金	10百万円



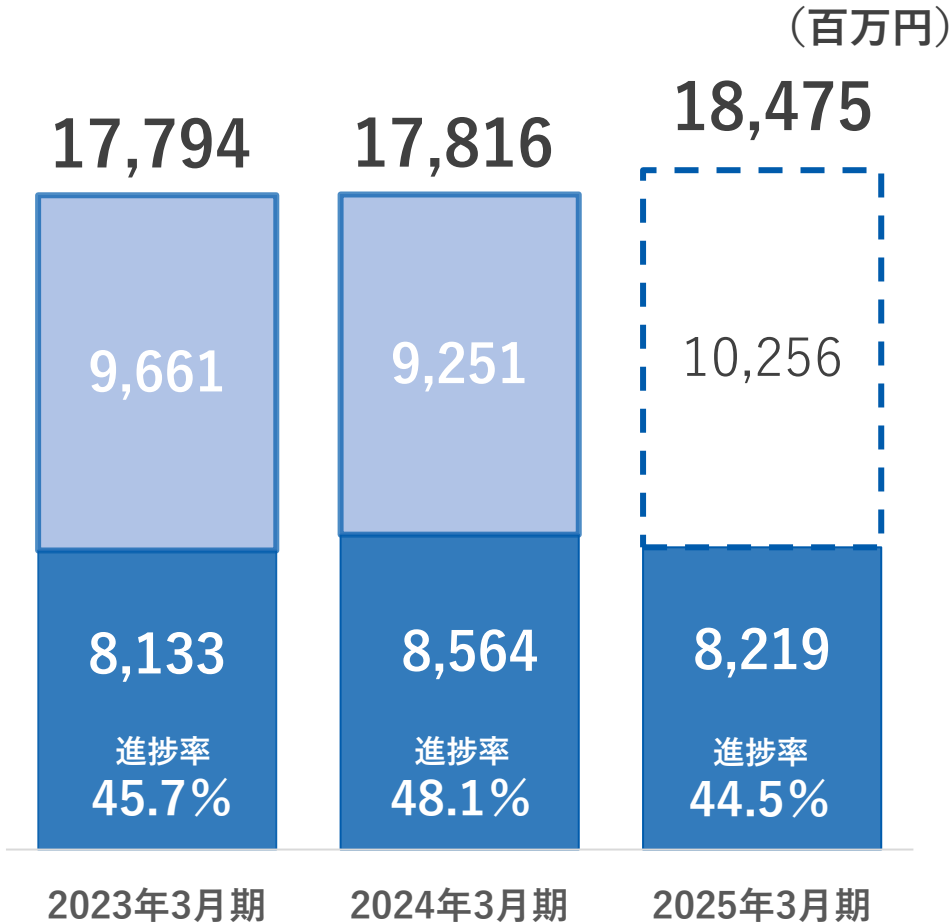
# 2025年3月期通期計画

- 堅調なインフラ土木分野の需要取込みと、新たなグループ各社との連携による、将来の事業拡大・成長を優先した計画とした
- 人的投資を含む「成長投資」に関わる各種経費増を織り込んだ
- 鋼材を含む物価高・円安リスク、グループ会社との開発投資などにより、単年度としては減益を見込むが、中期経営計画の達成に向けて堅調に推移中

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	2025年3月期 2Q進捗率		前年同期比	
売上高	21,142	22,000	10,078	45.8%	△ 79	△ 0.8%
営業利益	2,066	1,850	742	40.1%	△ 219	△ 22.8%
経常利益	2,042	1,850	750	40.5%	△ 185	△ 19.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,740	1,300	608	46.7%	△ 321	△ 34.6%

## 売上高推移



機能材事業に含めていた電動油圧工具は、ファスニング事業に含めて記載しております

## 2025年3月期計画：18,475百万円

### ■ ファスニング関連

- ・主力のあと施工アンカー・ドリル・ファスナーの材販需要は好調な推移を見込んでおり、販売をさらに強化する
- ・建築関連については緩やかに回復する見込み
- ・鋼材価格は高止まりの状態が続き、コスト面では不安定な状況が続く

### ■ 電動油圧工具関連

- ・海外販売の回復が鈍化しているが、国内販売は堅調に推移することが予想され、概ね前年並みを見込む

### ■ エンジニアリング関連

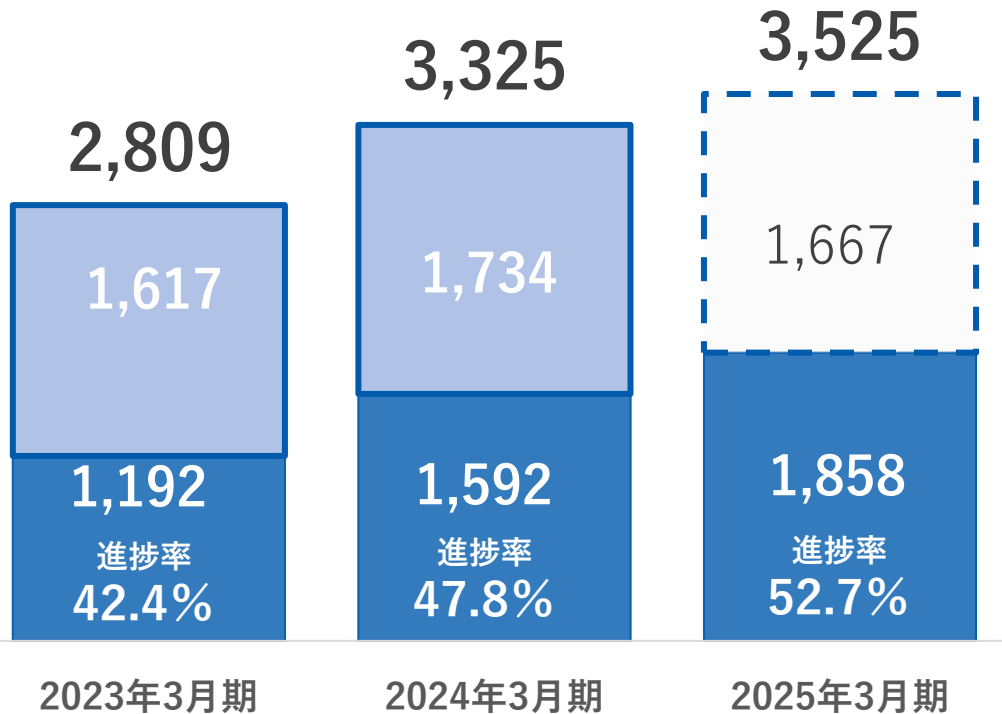
- ・インフラメンテナンスの安定した需要はあるものの、材料価格の高騰、人手不足や2024年問題による工期遅れの懸念が残る。通期完成工事高は、減少を見込む



## 売上高推移

(百万円)

## 2025年3月期計画：3,525百万円



👉 機能材事業に含めていた電動油圧工具は、ファスニング事業に含めて記載しております

### ■ センサー関連

- ・アルコール検知器関連は、前年比微増で推移  
新製品「ALC Face Air」によるシェア拡大を目指す
- ・電子基板関連は、新子会社との連携で事業拡大を図る  
→ WDS(システム開発)、スイコー・浦和電研(電子基板)、光洋(シート印刷・アッセンブリ)

### ■ FRPシート関連

- ・公共インフラの補修や集合住宅の受水槽ライニング等、用途拡大を進めている

### ■ 包装・物流機器関連

- ・プラスチックを使用しない100%紙製のブリスター包装を可能とする機器の販売が堅調。物流の2024年問題を背景にさらなる需要を見込む

## 2024年度～2026年度で累計30億円の設備投資を計画

### ■2025年3月期 主な設備投資実績

#### 製造設備の内製化

国内のメイン工場（野田）に製造設備開発チームが設計・制作する設備を導入し品質・生産性の向上を図る



**スリ割り機を増設**  
同時に品質確認機能を強化  
2024年7月稼働



**複数機のライン化**  
省人化・スペースの最適化  
2024年7月稼働



**3D測定器の導入**  
不具合品の解析  
2024年6月導入

最新の自動倉庫を備える商社の要望に応えるべく「メーカーとして必要な」自動倉庫の建設を実施し、近年の「小ロット」「多頻度」の発注に対応し、生産性向上を図る



## ◀ 完成イメージ図

建設地：流山工業団地内  
投資予定金額：約20億円  
着工：2024年10月  
竣工：2026年2月（予定）

## その他の投資

### 製造設備の追加および刷新

- ・ 国内外の工場における製造設備を増強し、安定性・生産性の向上を図る
- ・ S.T.G.製品を生産するため、光洋の福島工場を増設

### 研究開発設備への投資

顧客対応を進化させ、改良開発等をスピーディーに行うため必要な設備投資を戦略に沿って検討中



地鎮祭 2024年9月30日

配当	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
1株当たり 年間配当金 (円)	26.0	28.0	30.0	34.0	38.0
配当性向 (%)	20.3	20.6	16.9	15.4	23.1

## 株主優待

当社株式を1単元（100株）以上保有の株主様に  
一律、500円分のQUOカード（クオ・カード）を贈呈



自己資本比率65～70%の維持を目標としつつ、成長のための投資と安定増配をバランスよく実現  
ROICがWACCを上回っている現状の良好な状態を、マーケットに鑑みて維持することを目指す

## 配当方針

成長投資のために必要な内部留保は確保しつつ、安定的・継続的な増配を目指す

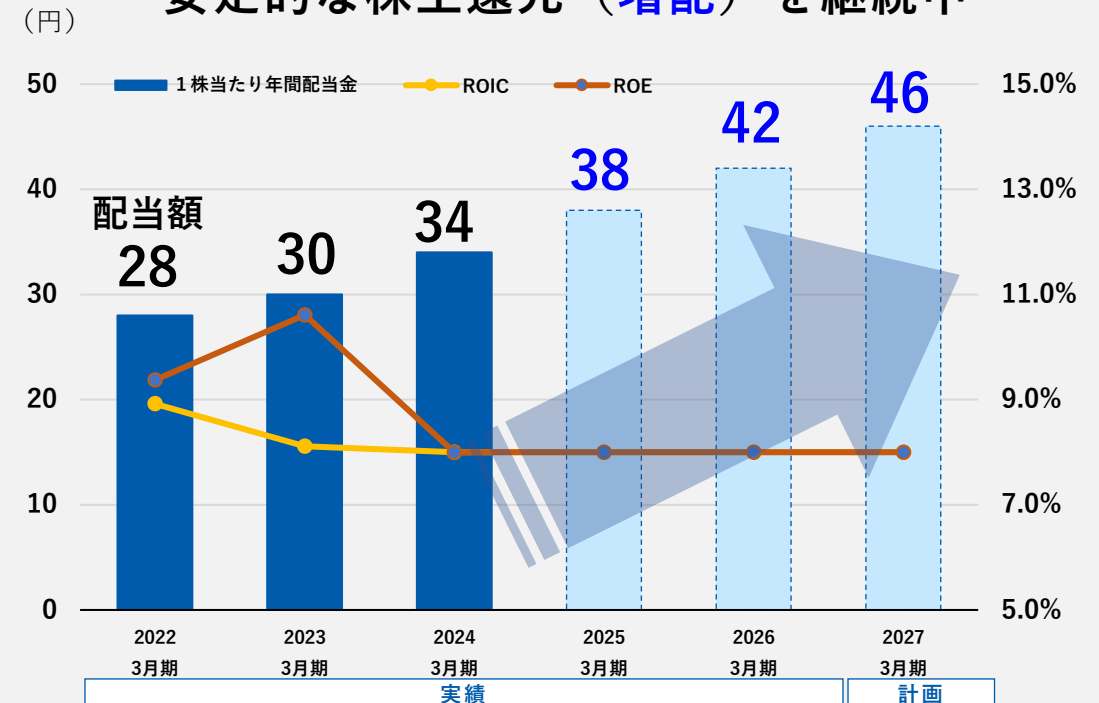
原則として「減配なし、配当維持もしくは、増配のみ」（累進的配当政策）という意味合いの配当政策であり、中長期的に安定した配当を行うことを明言するものです

## PBR改善策

既存事業の更なる成長およびM&A戦略の推進により資本効率を意識した経営を実行  
安定増配とIR活動の推進を通じて、PBR1.0倍以上の早期回復を目指す

## 1株あたり配当金の推移

2010年3月期以降、14年連続増配を達成  
安定的な株主還元（増配）を継続中



# 新-中期経営計画（2024年度～2026年度）- KGI・KPI

ROICをはじめとした重要指標を意識しながら成長のための積極投資を行うことで、中長期的な拡大を目指す

(百万円)	前-中計期間（実績）			新-中計期間（計画）		
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
売上高	<b>18,735</b>	<b>20,604</b>	<b>21,142</b>	<b>22,000</b>	<b>23,000</b>	<b>24,000</b>
ファスニング事業	15,959	17,795	17,816	18,475	18,737	19,000
（うち土木向け製品）	590	569	724	900	950	1,000
機能材事業	2,775	2,809	3,325	3,525	4,262	5,000
（うちアルコール検知器関連）	640	898	545	650	750	1,000
設備投資額	<b>1,228</b>	<b>618</b>	<b>371</b>	3カ年累計 <b>3,000</b> 百万円		
経常利益	<b>1,697</b>	<b>1,948</b>	<b>2,042</b>	<b>1,850</b>	<b>2,000</b>	<b>2,100</b>
経常利益率	<b>9.1%</b>	<b>9.5%</b>	<b>9.7%</b>	<b>8.4%</b>	<b>8.7%</b>	<b>8.8%</b>
加重平均資本コスト（WACC）	<b>4.95%</b>	<b>4.10%</b>	<b>3.78%</b>	4～5%（想定）		
ROIC	<b>8.40%</b>	<b>8.92%</b>	<b>8.11%</b>	8%以上	8%以上	8%以上
ROE	<b>7.78%</b>	<b>9.37%</b>	<b>10.61%</b>	8%以上	8%以上	8%以上
1株当たり年間配当金（円）	<b>28</b>	<b>30</b>	<b>34</b>	<b>38</b>	<b>42</b>	<b>46</b>
配当性向	<b>20.6%</b>	<b>16.9%</b>	<b>15.4%</b>	<b>23.1%</b>	<b>23.4%</b>	<b>24.4%</b>

（注）ファスニング事業・機能材事業の前-中計期間（実績）は、変更後のセグメント区分によった場合の売上高を記載

（注）加重平均資本コスト（WACC）は、CAPMによる株主資本コストと負債コストを加重平均し当社にて算出

本日は誠にありがとうございました。



サンコーテクノ株式会社

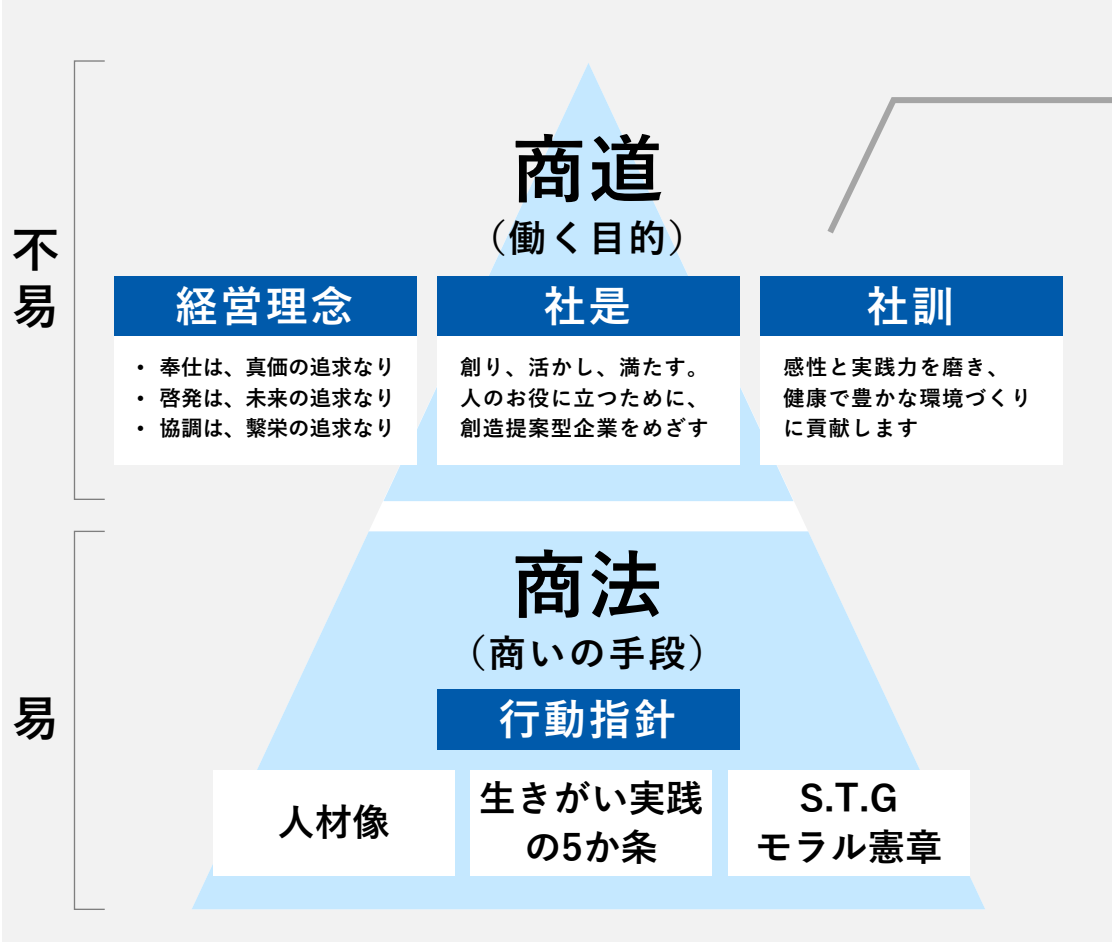


# 中期経営計画 (2024～2026年度) サマリー

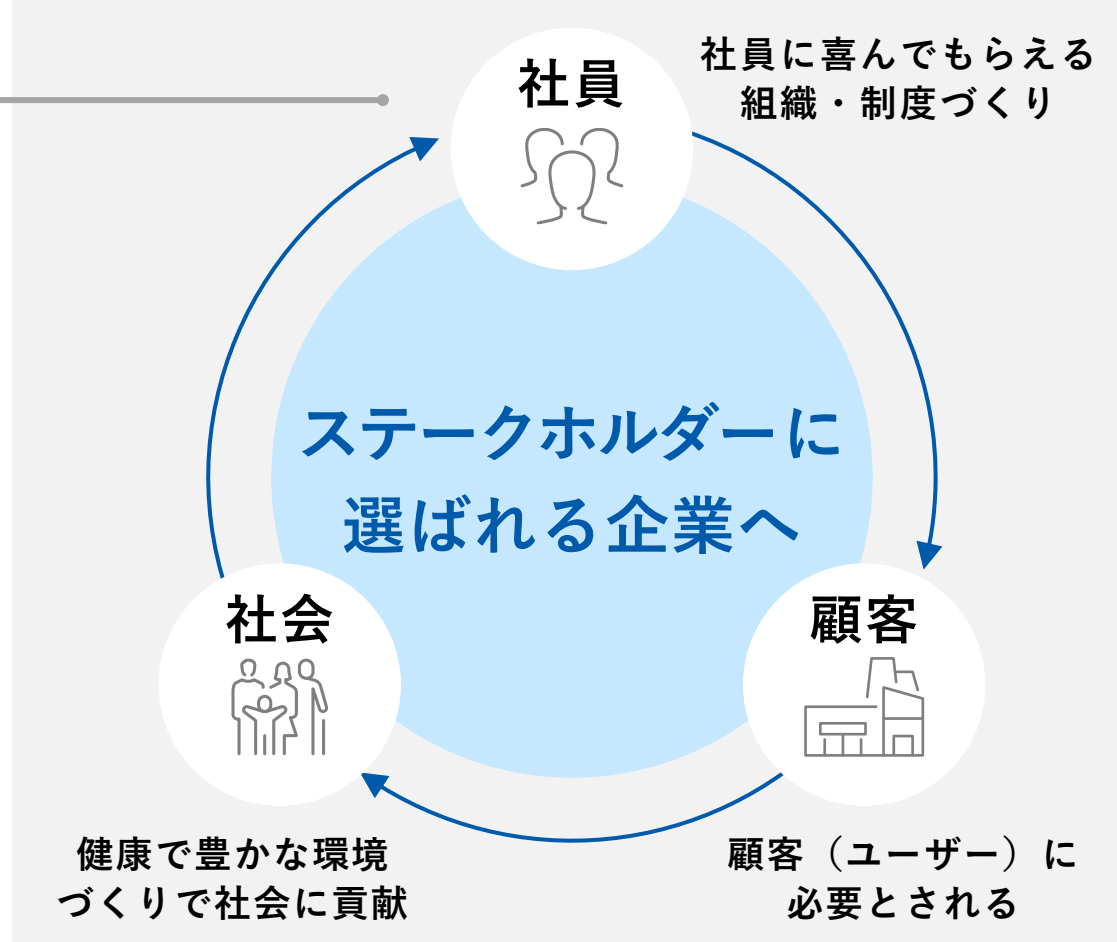


社員のエンゲージメント向上を通じて、ステークホルダーに選ばれ・必要とされる企業を目指す

## 当社グループの理念体系



## 当社が目指す「三方よし」



## S.T.G Vision 2026

私たちは、安全・安心・環境・健康をキーワードに  
**事業拡大とニッチトップ**を実現します

### 財務目標（連結）

成長のための投資と売上拡大のバランスを取りながら、さらなる事業拡大を戦略的に実行

売上高

240億円

ファスニング事業

190億円

機能材事業

50億円

経営利益

21億円

売上高経常利益率

8.8%

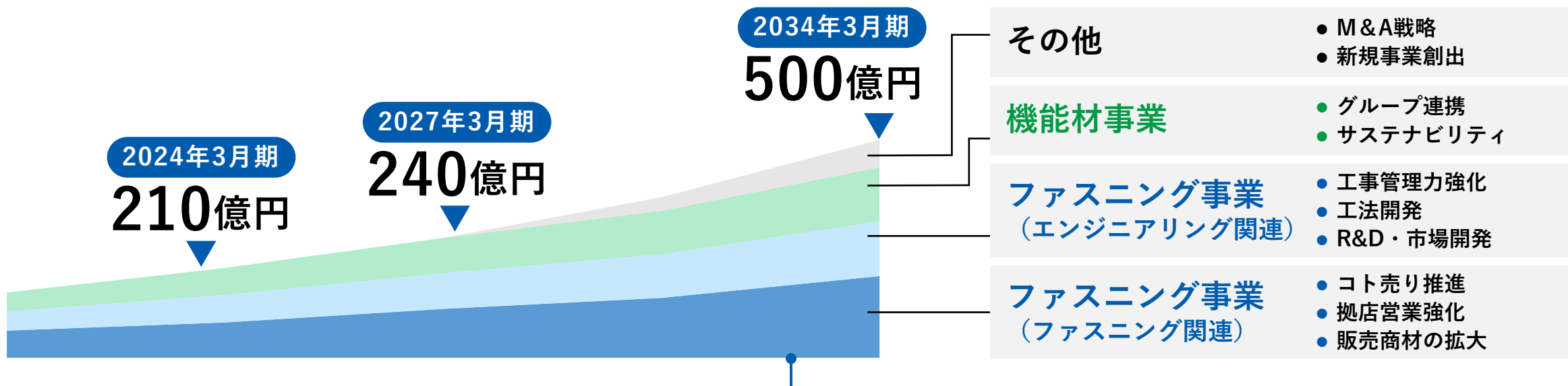
# 事業別計画と展望



グループ連携による「コトづくり」の付加価値向上によって売上高のトップラインを向上させるとともに、環境に配慮した脱プラ対応の新製品開拓にも注力していく

事業		概要	2026年度 売上計画
ファスニング事業	ファスニング関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品・技術・サービスをバランスよく提供する「ソリューション営業」のさらなる進化</li> <li>地域密着型の拠店戦略で「顧客接点」を最大化</li> <li>顧客の困りごとを解決する創造提案型営業の展開</li> </ul>	190億円以上
	電動油圧工具関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内拠店の販売網を活用したさらなるPR活動</li> <li>代理店との関係強化による海外売上高の伸長</li> </ul>	
	エンジニアリング関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査から提案（設計）・工事受注までの流れを確立</li> <li>協力業者との強固な信頼関係を構築</li> <li>ゼネコン等とのオープンイノベーションを深耕</li> </ul>	
機能材事業	センサー関連 Alc検知器関連 電子基板関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心（健康）をキーワードとし、緑ナンバー・白ナンバーの買い替え需要を取込み</li> <li>グループ間のシナジーを追求し、WDS・光洋と連携した自社製品の開発を推進</li> </ul>	50億円以上
	FRPシート関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道橋補修工法の全国展開と、用途開発の深耕</li> </ul>	
	包装・物流機器関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流2024年問題に伴う需要の取込み</li> <li>メンテナンス力向上</li> <li>コト売りへのシフト</li> <li>脱プラに対応した新商品の開拓</li> </ul>	
		157億円	
		33億円	

## 売上高の成長イメージ



## 成長を支える3つの柱

### ソリューション営業

地域密着型の拠点戦略に注力し、「ユーザーの顔が見える」を強みに地域へ根差した提案営業を推進



### メンテナンス力

製品購入後も顧客をサポートすることで良好な関係性を構築し、持続的なビジネスへ繋げる



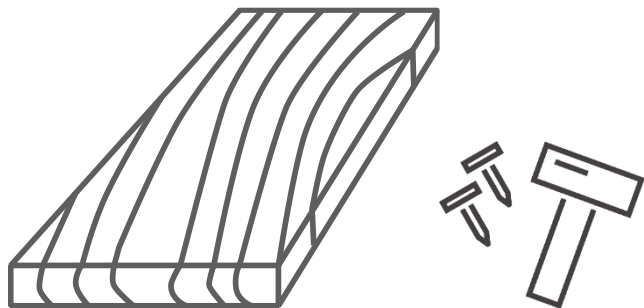
### 人財育成・全体最適化・DX

ステークホルダーから選ばれる会社となるため人財育成に注力するとともに、時代に負けないDX推進によって更なる発展を目指す

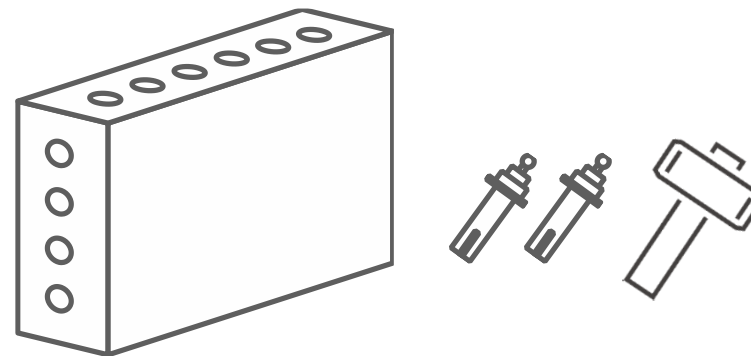
# 補足：主力製品概説

# 「あと施工アンカー」について

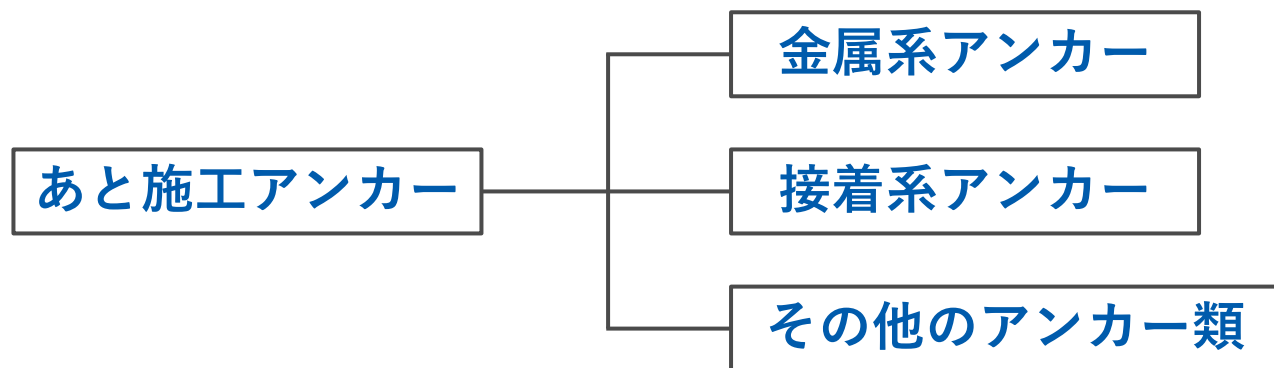
あと施工アンカーは、コンクリートなどに対して物を固定・取り付ける際に使用されます



木材などには「釘」



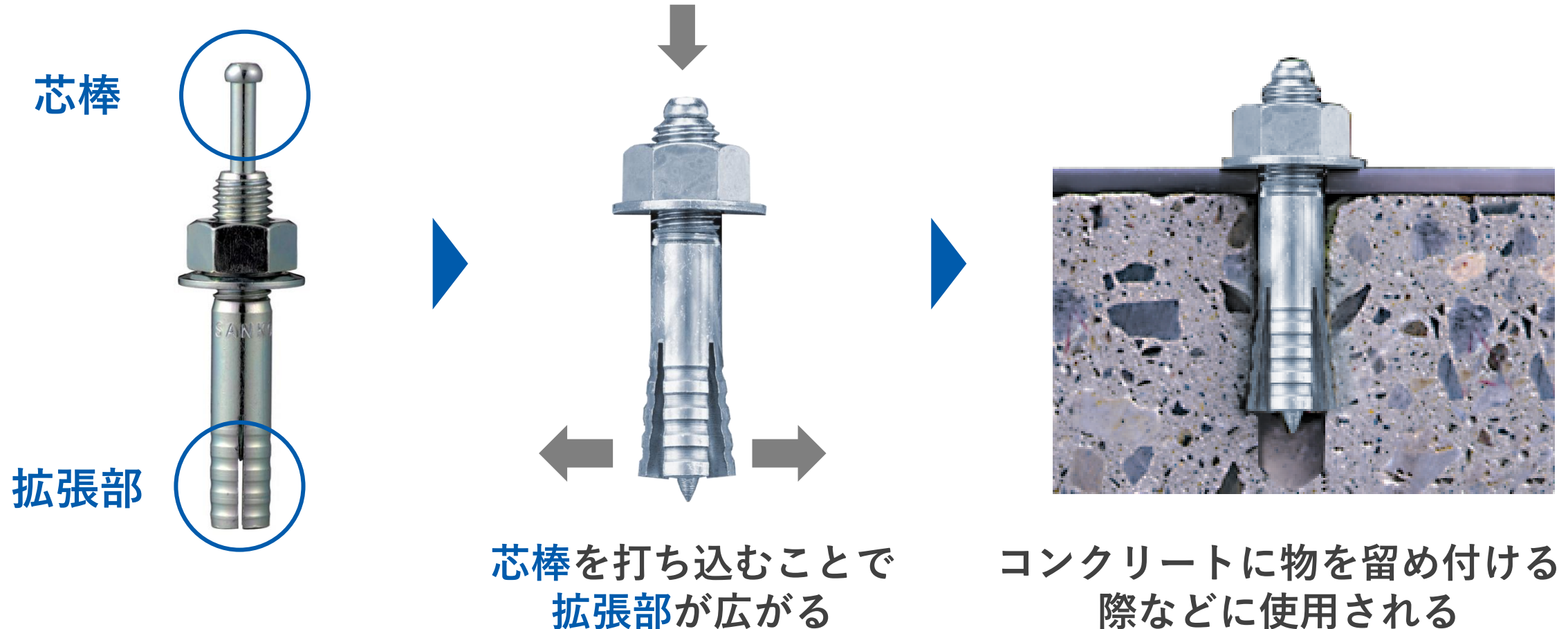
コンクリートなどには「あと施工アンカー」



あと施工アンカーには大きく分けて3つの分類がありそこからさらに21の分類に

# あと施工アンカーの仕組み（芯棒打込み式の場合）

製品名：オールアンカー



# こんなところにサンコーテクノ

あと施工アンカーは、身近なところで使用されています。看板や標識の取付けから配管設備の固定、ソーラーパネルの設置から耐震補強に使用されるなどその用途はさまざまです



建物の耐震補強に・・



手すりの取付けに・・



高速道路の防音壁に・・



看板・標識の取付けに・・





# ファスニング事業の主要製品

「あと施工アンカー」：金属系アンカー、  
接着系アンカー、  
その他のアンカー  
(軽量物留付け用)  
用途に応じた  
多彩なラインナップ



「ドリル」：あと施工アンカーを施工する際に必要な穿孔。コンクリートに真円に近い孔をあけるドリル、粉塵を出さないドリルなどをラインナップ



「ファスナー」：鋼板と鋼板の締結を一工程で行えます。「ドリルスクリュー」は、サイディング（壁）関連で、「ルーフボルト」は鋼板屋根材の施工に使用されています

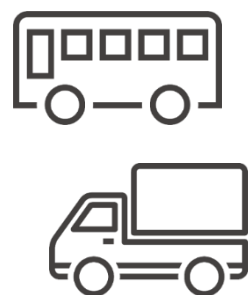


鉄筋を切断する「鉄筋カッター」鉄筋を曲げる「鉄筋ベンダー」のほか、「アンカー打込み機」はあと施工アンカー施工の効率化に貢献



# 機能材事業の主要製品

運転前後のアルコール測定に  
呼気アルコール検知器



「FRPシート」：横断歩道橋・地下タンクを  
はじめとした、  
コンクリート構造物・  
鋼構造物の補修・補強に



少量生産に強みをもつ電子基板関連で  
お客様の  
ご要望に  
お応えします



梱包作業の省人化・省力化に  
パレットストレッチ包装機



# 本資料の取扱いについて



- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、公表日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。